

「大江川」のイベント2連続！みんなで行こう！

第6回「大江川クリーン作戦」 みんなの力で環境を変えよう！！

内 容：大江川の浄化 ごみ・草取り、大江川の沿道の美化
 終了後は、みんなで「いも煮」を食べよう！

日 時：11月20日（土）午前9:00～10:30 小雨決行

集合場所：天道公園（8:30）羽衣一丁目・和光交差点南西角

申 込 先：グラウンドワーク一宮実行委員会（一宮市役所地域ふれあい課内）
 TEL：0586-73-9111（内線2142）

午後からは、
**みどり
 大江川 水土里フォーラム**
 へ来てネ！



教えて！のーりんQ&A

皆さまからの質問を
 お待ちしています！

Q1：田んぼにいる「子供を産む貝」って、どんな生きものですか？

A1：田んぼや流れのゆるやかな川にいる、体長3cm位の巻き貝で「カワニナ」といいます。
 卵を自分の体の中で大切に守り、卵からかえった1～2mmの稚貝を生まみます。エサは、水藻などですが、野菜くずなどの残飯も食べるため、水がきれいであれば、人里近くでより多く繁殖し、ホタルの発生につながります。
 カワニナは、年に数百の稚貝を生まみます。川の汚染が改善され、水がきれいになれば、カワニナが繁殖し、ホタルが帰ってくるかもしれませんね。



編集・発行 リフレッシュ濃尾用水・編集事務局

紙面の内容に限らず、農業農村整備事業に興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

農林水産省 東海農政局 新濃尾農地防災事業所（しんのうびのうちぼうさいじぎょうしょ）
 (〒491-0903 愛知県一宮市八幡5-1-14 TEL0586-47-7720 FAX0586-47-6851)

犬山支所（〒484-0085 愛知県犬山市大字犬山字西古券地先 TEL0568-62-6201）
 羽島支所（〒501-6074 岐阜県羽島郡笠松町新町42 TEL058-218-2127）

【ホームページアドレス】

☆新濃尾農地防災事業所：<http://www.tokai.maff.go.jp/nougyou/seibi/kensetu/sinnoubi/>
 ☆農林水産省：<http://www.maff.go.jp/> ☆東海農政局：<http://www.tokai.maff.go.jp/>



リフレッシュ濃尾用水

【編集発行】
 農林水産省東海農政局
 新濃尾農地防災事業所
 2004年10月 第3号

Topics!

- ★ かんがい期間の終了にあわせ、今年度も10月から用排水路等の改修工事を開始しました。
- ★ 11月20日、一宮スポーツ文化センターにおいて、「大江川 水土里フォーラム」を開催します！
- ★ 稲沢北小学校の児童らとともに「田んぼの生きもの調査」を実施しました。

今年度も10月より改修工事を開始しました。



犬山頭首工の工事は、木曾川の非出水期（10月から翌年5月まで）を利用して、河川内を締め切り、古くなった構造物の補修を行うものです。全体で6年間かかる工事のうちの、今回は5年目となります。



河川を締め切る準備をしています

ライン大橋を通行する際には、普段と違う木曾川の様子を眺めて見て下さい。

＜犬山頭首工＞

大江排水路（大江川）の工事は、周辺地域の市街化等に伴い、大雨の時の通水機能が低下している現在の玉石積み水路を、より多くの水を流すことのできる断面に造りかえるものです。来年また田んぼに水を流し始めるまでに工事を行います。



既設の玉石護岸を取り壊しています

＜大江排水路（大江川）＞

築造後数十年が経過し、機能が低下している農業用施設を

新濃尾農地防災事業において補修・改修することにより、

農業用水の安定的な供給や災害の未然防止などを実現します。

＜羽島用水路＞

羽島用水路の工事は、ゴミの投棄や雑排水の流入などによる農業用水の水質悪化を防ぐため、現在は開水路として流れている水路をパイプライン化して、地中に埋めるものです。



既設の水路を取り壊しています

パイプの上部は、せせらぎ水路や遊歩道などとして利用される予定です。

＜左岸幹線水路＞

左岸幹線水路の工事は、築造後40年が経過し、摩耗やひび割れによる劣化が著しい水路の壁や底面の表面補修を行うものです。表面以外に大きな劣化は見られないことから、既存の水路を利用することにより、工事費や工期の節減を図ります。

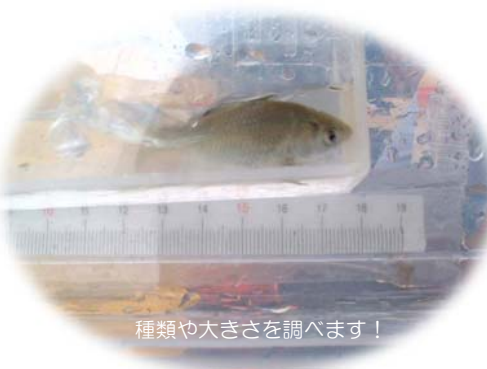


摩耗している表面を補修します

児童らとともに「田んぼの生きもの調査」を行いました！



タモ網を使って生き物捕獲！



種類や大きさを調べます！

8月23日（月）、宮田用水土地改良区職員及び稲沢市立稲沢北小学校5年生の児童らとともに、小学校周辺の水田において「田んぼの生きもの調査」を実施しました。当日は、朝から雨が降り続くあいにくの天気でしたが、職員が先生役となり、児童を中心にたも網・籠網による生きものの捕獲やパックテストによる水質の調査を行いました。

子供たちの生きものに対する興味・好奇心は強く、時折激しくなる雨にも負けず、服を上下とも水浸しにしながら、田んぼや用水路で捕獲を続ける姿も見られ、児童らの歓声は、雨音をかき消す勢いでした。

調査結果としては、定置網にかかった60cm超のナマズをはじめ、メダカ、フナ、ドジョウ、ツチガエルなど様々な生きものが確認され、児童だけでなく参加した職員も改めて環境に対する意識を高めることができました。調査終了後には、自ら捕獲した生きものの名前や特徴などについてみんなで発表会を行うなど、児童らにとっては、ひと味違う夏休みの出校日となりました！



田んぼのまわりには、多くの生き物たちがすんでいます。しかし、今までにそこにどのような生き物が、どれだけいるのか？ということ年全国的に調べたことはありませんでした。

そこで農林水産省と環境省は、田んぼのまわりにすんでいる生き物たちの現状を明らかにするため、2001年から全国で「田んぼの生きもの調査」をしています。2002年から、一般の方々にも調査に参加してもらっています。



最後にみんなで記念撮影！

農業水路として千年の歴史を持つ「大江川」。 11/20に「大江川 水土里フォーラム」を開催します！

11月20日（土）、「大江川 水土里フォーラム ～水はたからもの～」を農林水産省東海農政局と当事業所の主催により、一宮スポーツ文化センター（小ホール）において開催します。

農業用水路として、開削一千年の歴史を持つ「大江排水路（大江川）」について、「水・土・里」の3つの観点から、その役割や歴史などについて紹介し、今後の潤いある地域づくりをどのように展開していくかを考えるフォーラムです。当日の午前中には、地元グラウンドワーク主催による「大江川クリーン作戦」も予定されています。皆様の参加をお待ちしております！

◆開催日時：平成16年11月20日（土）

13:00～16:00

◆開催場所：一宮スポーツ文化センター・小ホール
(愛知県一宮市真清田1-2-30)

◆主な内容：基調講演、パネルディスカッション、
地元小学生による活動発表会、
秋のおしゃべりコンサート

◆入場無料、参加者には粗品をプレゼント！

※詳しくは、折り込みのチラシをご覧ください。



春の大江川



大江川だより

大江排水路
(大江川) 物語

第二話

江戸時代のはじめ、徳川家康が木曾川左岸沿いに犬山から河口まで全長約五十キロメートルの巨大な堤防を造り、濃尾平野をぐるりと囲ってしましました。これが通称「御囲堤」と呼ばれているものです。
この時、大野村の堤防に松（取水口）を新築し、平安以来の大江用水につなげました。一六〇八年のことです。
その後、大野村は宮田村の宮田西松へ移り、一六四二年に用水不足に対応するため隣接して東松を新築し、ここに宮田用水の原形が完成されました。

(つづく)

田んぼの生きもの
知っていますか？



みんな、こんにちわ。
マイコアカネのマイです！
舞子さんのように顔が白くて赤い服を着ているから、マイコアカネって呼ばれているの。
みんなの周りの田んぼや池にいるから、私に会いに来てね。一緒に踊りましょ！